



国際交流のひろば



留学生の日本文化・歴史体験に関する研修

11月2日(水)午後、野尻湖ナウマンゾウ博物館、苗名の滝、黒姫童話館を見学しました。この研修は留学生に日本文化・歴史体験や交流の機会を提供することを目的に行っています。王瞞さんから感想文を寄せてもらいました。

大学院1年 王瞞(中国)

まず、長野県信濃町の野尻湖畔にある野尻湖ナウマンゾウ博物館へ行きました。ここでナウマンゾウの骨を見て歯に触りました。石器作りも体験しました。次は苗名の滝へ行きました。私は8月と今回、2回行きました。今回は山が緑、赤、黄色などの色で、葉が赤くなって、きれいな風景だと思いました。同じ所でも四季の様子で景色は違いました。最後に黒姫童話館へ行きました。童話館周辺の森や草原を「童話の森」と名づけられていて、ここで皆で写真を撮りました。文学と芸術と自然を一体的に楽しめる空間づくりです。世界や信州の民話・童話・児童文学などを少し理解しました。もう一回行きたいです。



修了生からの手紙

令和4年3月に博士課程(連合大学院)を修了し、現在、中国の贛南師範大学で教師としてご活躍されている王 佳穎さんからお手紙が届きました。

令和3年度博士課程(連合大学院)修了生 王 佳穎(中国)

皆さま、ご無沙汰しております。お元気ですか。2015年から2022年までの7年間にわたり、上越教育大学大学院で学ばせていただきました。現在は中国江西省の師範大学に勤めています。振り返ってみると、上越で初めて雪国の生活を体験しました。それだけではなく、地域社会の一員として受け入れられ、さまざまな地域活動に参加できることに温かさを感じております。そして、大学院では納得のいくまで試行錯誤を行い、何度もチャレンジすることができる時間と場が十分に保障されており、とてもありがたく思っています。恵まれた環境の中で、研究課題を練り上げることができる喜びと研究することの楽しさや奥深さを実感した7年間でした。

修了後、改めて、上越教育大学で過ごした日々が自分にとって、どれほど貴重で豊かな時間であったかをかみしめています。この7年間、ご指導・ご支援くださった上越教育大学の諸先生方、職員方及び、地域の方々に厚くお礼申し上げます。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)